

全国クリエイター会員の皆様、お元気でしょうか。台風の頻発する季節となりました。猛烈な風と局地的な大雨災害から身を守ることが最優先です。日頃から災害対策の準備を心掛けてゆきましょう。

私達の日頃のビジネスを進めてゆく中で特に大切なことは、信頼し合える人間関係の構築です。一般的にコミュニケーションというと、上手に話したり聞いたりすることだと思える人が多いようですが、話す前に大事なことがあります。それは、「見る」ということです。相手の様子を見るということもコミュニケーションの基本です。さらに、相手への視線の向け方も大切です。話を聞くときは、顔だけでなく体ごと向けると、話をちゃんと聞きますよという意思表示になります。人は、自分を見てくれる人を好きになるものです。

人間関係には、踏まえるべき4つの原則があります。それは、尊敬（尊重）、配慮（理解）、知（評価）、責任（受容）です。尊敬とは、相手を敬う心を持つこと。配慮とは、相手の話に耳を傾け、何を考えて行動や発言をしているのか、理解しようとする心です。知とは、相手の優れた点を認めようとする心です。最後に、責任とは、相手の期待に少しでも応えてゆこうとする心です。これらの原則を守ること、たとえ性格や価値観が違う者同士であっても信頼関係を築いてゆけます。お互いに人間関係構築の原則を守りながら、末永く続く関係を築き上げてゆきたいものです。

昔から、旅は「人生」にたとえられます。旅先ではいろいろな発見があり、見聞が広まるものです。楽しいことがある一方、予想しないトラブルに見舞われたりすることもあります。いずれにせよ、旅＝人生は、多くのことを学ぶ機会になるものです。私達は、流れ続ける時のなかで目的地を目指し、学びながら進み続けています。まさに、生きることは旅と同じです。“人生山あり谷あり”という言葉がありますが、良いことが起きたときには、謙虚な気持ちでさらに努力し、良くないことが起きたときには、前向きに捉えてゆくことを意味しています。その時は大変なことだと思っていた出来事も、時間がたってみれば、「今思えば良い経験をした」と思うことになります。良い出来事も悪い出来事も、長い時間を通して考えれば別の見方ができるものです。だからこそ、安易に調子に乗ったり、悲しんだりせず、平静な心で日々努力を重ねてゆきたいものです。そのために大切なこととして、盛時でも哀時でも変わらず“感謝の心”を持っていることです。良いことは「皆さんのおかげ」、悪いことは「改善すべき機会を与えてもらった」と感謝することで、穏やかな心を保つことができます。人生100年時代とも言われる今、長い道のりを幸せに歩いていくために、是非、心掛けてゆきましょう。良いときも悪いときも感謝で生きること。

話は変わりますが、ホスピタリティという言葉があります。ホスピタリティとは、心のこもったおもてなし、歓待を意味する言葉です。特に、ホテルや飲食店などサービス業において重要視されていますが、これは、全ての業種、私達のビジネス活動においても必要な心構えです。ホスピタリティの精神を高めるためには、普段からの心掛けが重要になります。決められたルールに沿った接客なら誰でもできますが、いつもと違う状況やお客様の期待している点などで違う状況の際に、気が回らないこともあります。状況や状態に応じたおもてなしをするためには、日頃から目の前の人に喜んでほしいという気持ちを常に持つことが大切です。ホスピタリティの精神は、日常の心掛けで育まれてゆくように思います。周りの人に喜んでほしいという心を忘れないことが大切です。グラント・イーワズスの理念の一つ、「美学と品格」の基本となる心構えです。

さて、今年のお盆のお墓参りはどうでしたか。お墓参りは、「家族が元気で過ごしていることへのお礼」と「これからも頑張ってみんなで幸せになる努力をいたします」という誓い、そして、「苦勞は私がいたします。ですから、みんなを幸せにしてください」という、祖先の苦勞を思いやる誓いを立てます。先祖のお墓の前で、これからの生き方のコミットメントをすることも大切です。

暦の上ではもう秋ですが、まだまだ暑い日が続きます。体調には十分気をつけて毎日をお過ごしください。

いつもグラント・イーワズズを支えて頂き、心より感謝申し上げます。いつもいつもありがとう！